

JAEA図書館における投稿料の助成 と発表情報の一元管理の事例

2014/8/4

日本原子力研究開発機構

研究技術情報部

早川 美彩





JAEA図書館の概要

- * 280万件以上の所蔵資料を有する国内随一の原子力専門図書館(3課体制、職員数21名(契約社員、アルバイト除く))
- * 国内外の原子力関連の資料を広範に収集、整理、提供するほか、JAEAの研究開発成果情報を一元的に管理し発信
- * 1970年より、国際原子力機関(IAEA)が運営する国際原子力情報システム(INIS)の日本側実施機関として、国内原子力文献の海外普及・発信を実施
- * 2014年6月より、国立国会図書館、IAEAと連携し、東電福島原子力事故情報アーカイブを運用

研究開発成果の管理業務

- * JAEA(国内13地区)全部署の研究開発成果(学術誌等投稿論文、国際会議等口頭発表)のとりまとめ
 - * 機構職員等の論文・学会発表情報の管理とインターネットを通じた発信(機関レポジトリ)
- * **研究開発成果の外部発表助成**
 - * **論文・学会発表に係る費用の助成業務**
- * 研究開発報告書類(JAEAレポート)及び成果普及情報誌の編集・刊行、著作権管理
- * 機構研究開発成果の調査(被引用調査等)

論文等発表情報の登録と管理

JAEAの就業規程(抜粋)

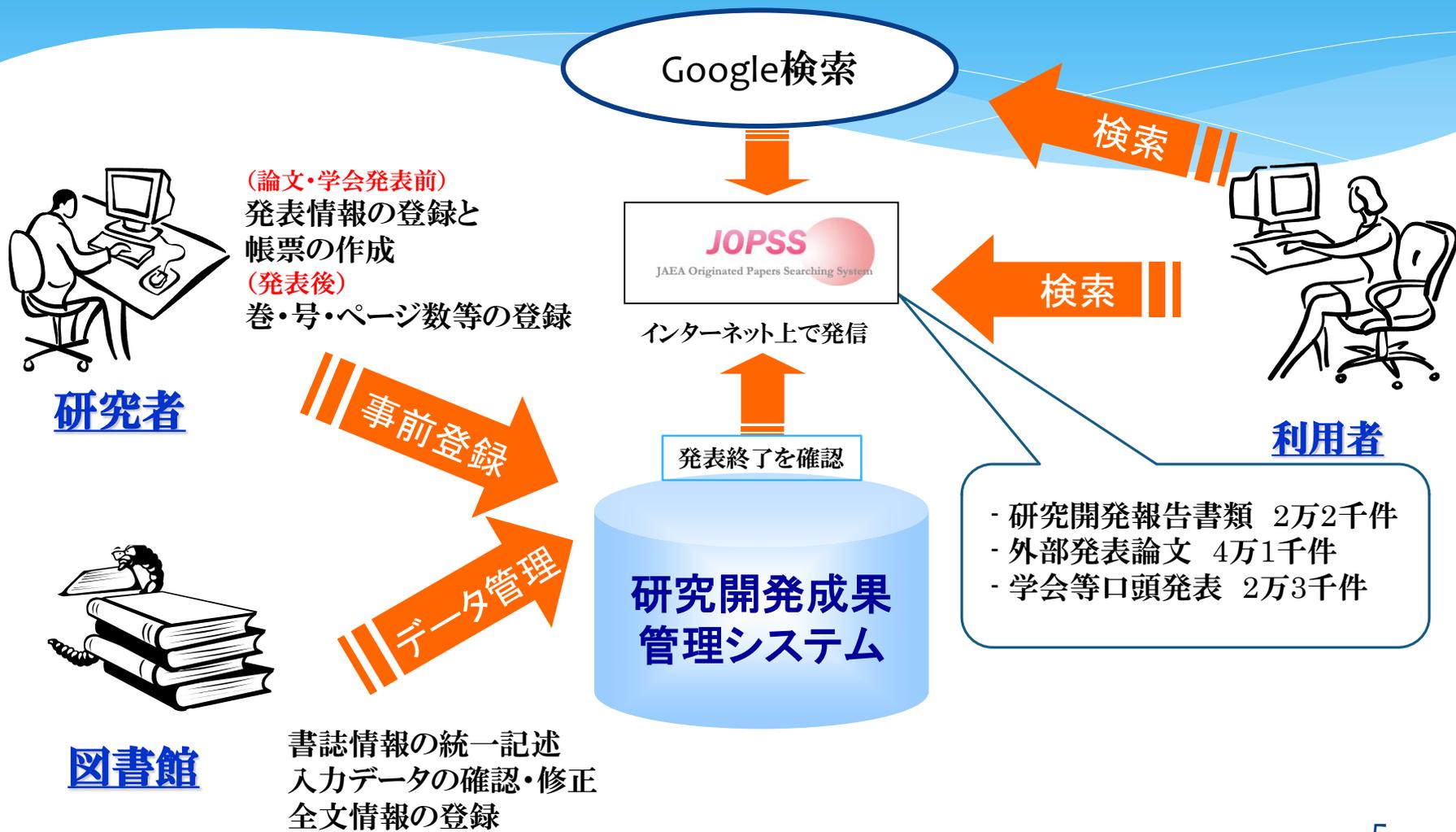
第6条 職員は次の各号に掲げる行為をするときは、あらかじめ機構の許可を受けなければならない。

(2)業務に関して新聞、雑誌等に寄稿し又は出版し若しくは講演等を行うこと。



- * 発表先・標題・要旨等を「研究開発成果管理システム」に登録して帳票(外部発表票)を作成し、所属長の許可をとる
 - * 上記システム及び登録された情報を図書館が管理
 - * 発表支援としての外部発表助成
- * 研究者が論文・学会発表の情報を登録し、その情報を図書館が管理する仕組みを用意

研究成果の登録と情報発信の流れ



研究開発成果管理システム

研究開発成果管理システム

JAEA R&D Result Management System
独立行政法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA)

English

[はじめに](#) | [マニュアル](#) | [各種書類](#) | [よくあるご質問\(FAQ\)](#)

[ログアウト](#)

申請機能メニュー

研究開発成果管理システム

JAEA R&D Result Management System
独立行政法人 日本原子力研究開発機構 (JAEA)

English

[はじめに](#) | [マニュアル](#) | [各種書類](#) | [よくあるご質問\(FAQ\)](#)

[ログアウト](#)

外部発表票

個人申請 - データ選択 - 入力 - 入力内容確認 - 完了

氏名: 機構 太郎

外部発表申請

研究開発成果を
会議で講演及び

新規申請

代行者設定

JAEA, Japan Atomic Energy Agency

■外部発表票:新規入力

発表代表者 著者情報 標題 発表形態等 会議情報 掲載情報 要旨 研究分野等 所見

※は必須項目です。

発表代表者

組織コード対照表は [こちら](#)

ヘルプ

検索

クリア

職員番号※ 999999

電話番号

氏名(漢字)※ 姓 機構 名 太郎

氏名(ローマ字)※ 姓 名

兼務区分※

身分区分※

組織コード※

部名※

課室名※

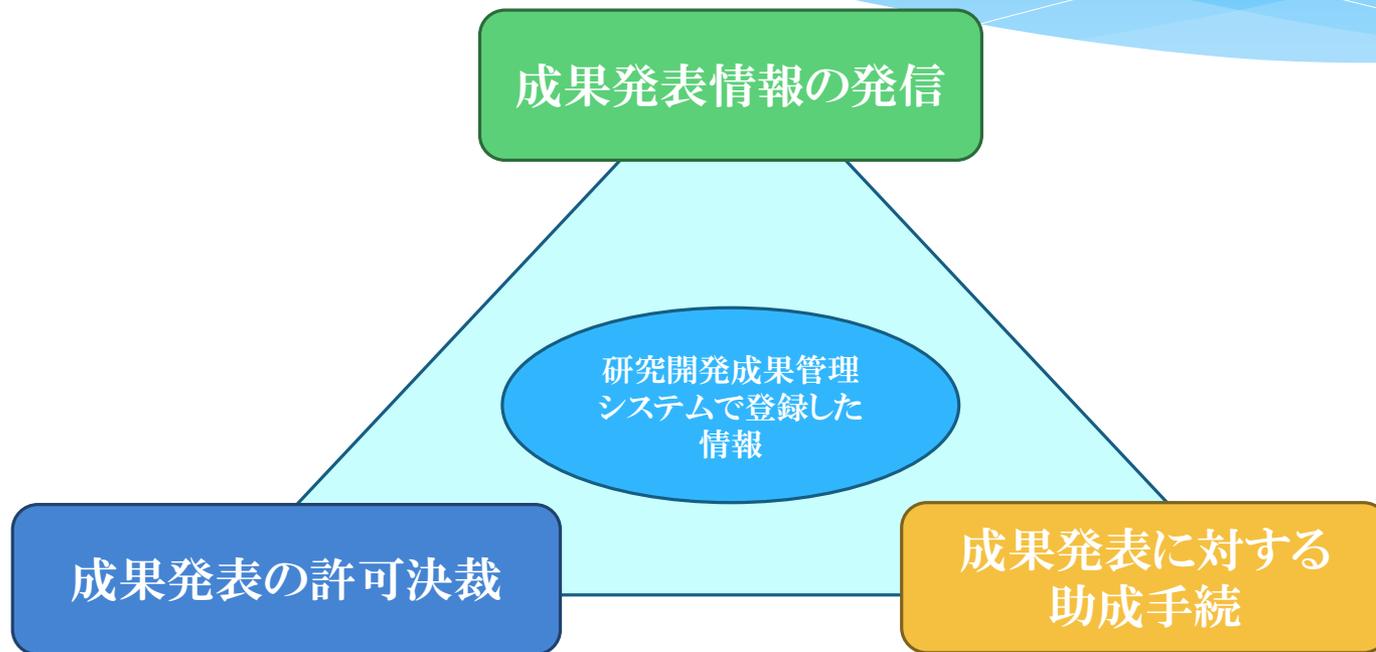
次へ

確認表示

著者・標題・発表先等の情報を
登録し、発表の決裁を受ける

メニューへ戻る

登録された情報の3つの役割



⇒「外部発表票」・「外部発表終了届」
の2つの帳票を出力して手続きを行う

発表内容の登録と帳票

研究開発成果管理システムから
作成する帳票

「外部発表票」：発表前
 標題・要旨・著者名・発表先等を
 登録し作成する帳票
 ……発表の決裁(電子決裁)

「外部発表終了届」：発表後
 発表前に登録した情報に
 掲載巻号ページ数等を追加し
 作成する帳票
 ……投稿料等の支払い
 データ確定と情報発信

外部発表票		外部発表終了届																																																												
<table border="1"> <tr><td>仮登録番号: 5047383</td></tr> <tr><td>発表代表者: 999999 (Tel.g*****)</td></tr> <tr><td>身分: 職員</td></tr> <tr><td>機構: 太郎</td></tr> <tr><td>本部</td></tr> <tr><td>所属組織: 組織コード 02052001</td></tr> <tr><td>研究技術情報部</td></tr> <tr><td>研究技術情報課</td></tr> <tr><td>発表費: 掲載料 (50 部) 予定額 11</td></tr> <tr><td>標題 (English): Sample data</td></tr> <tr><td>標題 (翻訳): 使用言語が英語なの</td></tr> <tr><td>会議種別:</td></tr> <tr><td>発表会議名:</td></tr> <tr><td>開催年月: 年 月</td></tr> <tr><td>掲載資料名: Journal of Sample A</td></tr> <tr><td>論文種類: 原著論文</td></tr> <tr><td>Vol.: No.:</td></tr> <tr><td>著者: 機構 太郎 (研究技術情報課)</td></tr> <tr><td>要旨: 要旨には「改行」コードは入</td></tr> <tr><td>コマンドで表現します。なお、TeX</td></tr> <tr><td>の表現として TeX コマンドを使用</td></tr> <tr><td>予算区分: 一般会計 (運営費交付金)</td></tr> <tr><td>研究分野: 原子力基礎工学研究</td></tr> <tr><td>使用施設:</td></tr> <tr><td>研究区分:</td></tr> <tr><td>特許出願: 不要</td></tr> <tr><td>著者権</td></tr> <tr><td>課室長所見: サンプルデータとして</td></tr> </table>	仮登録番号: 5047383	発表代表者: 999999 (Tel.g*****)	身分: 職員	機構: 太郎	本部	所属組織: 組織コード 02052001	研究技術情報部	研究技術情報課	発表費: 掲載料 (50 部) 予定額 11	標題 (English): Sample data	標題 (翻訳): 使用言語が英語なの	会議種別:	発表会議名:	開催年月: 年 月	掲載資料名: Journal of Sample A	論文種類: 原著論文	Vol.: No.:	著者: 機構 太郎 (研究技術情報課)	要旨: 要旨には「改行」コードは入	コマンドで表現します。なお、TeX	の表現として TeX コマンドを使用	予算区分: 一般会計 (運営費交付金)	研究分野: 原子力基礎工学研究	使用施設:	研究区分:	特許出願: 不要	著者権	課室長所見: サンプルデータとして	<table border="1"> <tr><td>仮登録番号: 5047261</td></tr> <tr><td>発表代表者: 999999 (Tel.g*****)</td></tr> <tr><td>身分: 職員</td></tr> <tr><td>機構: 太郎</td></tr> <tr><td>本部</td></tr> <tr><td>所属組織: 組織コード 02052001</td></tr> <tr><td>研究技術情報部</td></tr> <tr><td>研究技術情報課</td></tr> <tr><td>発表費: 掲載料 (50 部) 予定額 900 USD (約 93510 円)</td></tr> <tr><td>標題 (English): Sample data</td></tr> <tr><td>標題 (翻訳): 使用言語が英語なので翻訳標題は日本語となります</td></tr> <tr><td>会議種別:</td></tr> <tr><td>発表会議名:</td></tr> <tr><td>開催年月: 年 月 開催都市: ()</td></tr> <tr><td>掲載資料名: Journal of Sample A</td></tr> <tr><td>論文種類: 原著論文</td></tr> <tr><td>Vol.: 3 No.: 6</td></tr> <tr><td>ページ数: (P. 91 ~ P. 101)</td></tr> <tr><td>発行年月: (2014 年 06 月)</td></tr> <tr><td>著者: 機構 太郎 (研究技術情報課)</td></tr> <tr><td>要旨: 要旨には「改行」コードは入力しないでください。なお、学術記号、上付き、下付き記号、特殊文字等は TeX</td></tr> <tr><td>コマンドで表現します。なお、TeX コマンドの使用例はヘルプ画面で見ることができます。参考までに、学術記号</td></tr> <tr><td>の表現として TeX コマンドを使用する学会が増えています。</td></tr> <tr><td>予算区分: 一般会計 (運営費交付金)</td></tr> <tr><td>研究分野: 原子力基礎工学研究</td></tr> <tr><td>使用施設:</td></tr> <tr><td>研究区分:</td></tr> <tr><td>特許出願: 不要</td></tr> <tr><td>著者権許諾手続: 不要</td></tr> <tr><td>相手機関:</td></tr> <tr><td>課室長所見: サンプルデータとして発表する。</td></tr> </table>	仮登録番号: 5047261	発表代表者: 999999 (Tel.g*****)	身分: 職員	機構: 太郎	本部	所属組織: 組織コード 02052001	研究技術情報部	研究技術情報課	発表費: 掲載料 (50 部) 予定額 900 USD (約 93510 円)	標題 (English): Sample data	標題 (翻訳): 使用言語が英語なので翻訳標題は日本語となります	会議種別:	発表会議名:	開催年月: 年 月 開催都市: ()	掲載資料名: Journal of Sample A	論文種類: 原著論文	Vol.: 3 No.: 6	ページ数: (P. 91 ~ P. 101)	発行年月: (2014 年 06 月)	著者: 機構 太郎 (研究技術情報課)	要旨: 要旨には「改行」コードは入力しないでください。なお、学術記号、上付き、下付き記号、特殊文字等は TeX	コマンドで表現します。なお、TeX コマンドの使用例はヘルプ画面で見ることができます。参考までに、学術記号	の表現として TeX コマンドを使用する学会が増えています。	予算区分: 一般会計 (運営費交付金)	研究分野: 原子力基礎工学研究	使用施設:	研究区分:	特許出願: 不要	著者権許諾手続: 不要	相手機関:	課室長所見: サンプルデータとして発表する。	<p>外部発表終了届</p> <p>登録番号: AA 20139006</p> <p>決裁: 2014 年 06 月 27 日 起票: 2014 年 06 月 27 日</p> <p>受付年月日</p> <p>発注: <input type="checkbox"/> 下記の通り論文が掲載されました。(抜刷 1 部添付)</p> <p>有料抜刷 <input type="checkbox"/> 部受領しました。</p> <p>(抜刷 1 部及び請求書添付)</p> <p>年 月 日</p> <p>氏名 印 (Tel.)</p> <p>発表形式: 論文発表</p> <p>発表先: 国内</p>	
仮登録番号: 5047383																																																														
発表代表者: 999999 (Tel.g*****)																																																														
身分: 職員																																																														
機構: 太郎																																																														
本部																																																														
所属組織: 組織コード 02052001																																																														
研究技術情報部																																																														
研究技術情報課																																																														
発表費: 掲載料 (50 部) 予定額 11																																																														
標題 (English): Sample data																																																														
標題 (翻訳): 使用言語が英語なの																																																														
会議種別:																																																														
発表会議名:																																																														
開催年月: 年 月																																																														
掲載資料名: Journal of Sample A																																																														
論文種類: 原著論文																																																														
Vol.: No.:																																																														
著者: 機構 太郎 (研究技術情報課)																																																														
要旨: 要旨には「改行」コードは入																																																														
コマンドで表現します。なお、TeX																																																														
の表現として TeX コマンドを使用																																																														
予算区分: 一般会計 (運営費交付金)																																																														
研究分野: 原子力基礎工学研究																																																														
使用施設:																																																														
研究区分:																																																														
特許出願: 不要																																																														
著者権																																																														
課室長所見: サンプルデータとして																																																														
仮登録番号: 5047261																																																														
発表代表者: 999999 (Tel.g*****)																																																														
身分: 職員																																																														
機構: 太郎																																																														
本部																																																														
所属組織: 組織コード 02052001																																																														
研究技術情報部																																																														
研究技術情報課																																																														
発表費: 掲載料 (50 部) 予定額 900 USD (約 93510 円)																																																														
標題 (English): Sample data																																																														
標題 (翻訳): 使用言語が英語なので翻訳標題は日本語となります																																																														
会議種別:																																																														
発表会議名:																																																														
開催年月: 年 月 開催都市: ()																																																														
掲載資料名: Journal of Sample A																																																														
論文種類: 原著論文																																																														
Vol.: 3 No.: 6																																																														
ページ数: (P. 91 ~ P. 101)																																																														
発行年月: (2014 年 06 月)																																																														
著者: 機構 太郎 (研究技術情報課)																																																														
要旨: 要旨には「改行」コードは入力しないでください。なお、学術記号、上付き、下付き記号、特殊文字等は TeX																																																														
コマンドで表現します。なお、TeX コマンドの使用例はヘルプ画面で見ることができます。参考までに、学術記号																																																														
の表現として TeX コマンドを使用する学会が増えています。																																																														
予算区分: 一般会計 (運営費交付金)																																																														
研究分野: 原子力基礎工学研究																																																														
使用施設:																																																														
研究区分:																																																														
特許出願: 不要																																																														
著者権許諾手続: 不要																																																														
相手機関:																																																														
課室長所見: サンプルデータとして発表する。																																																														
<p>日本原子力研究開発機構 保存期間: 3 年</p> <p>発表形式: 論文発表 発表代表者: 機構 太郎 仮登録番号: 5047261</p> <p>登録番号 AA 20139006</p> 																																																														

図書館における論文投稿料等の支払い

- * 若手研究者の育成、研究部署間の成果発表機会の均等化等を目的
- * 論文投稿・学会参加費用の助成に係る予算を図書館が要求し、執行を管理。
- * 各研究者からの申請に基づき、一定条件の下で論文投稿・学会参加にかかる費用の助成を行う
 - * 投稿料(論文掲載に最低限必要となる費用)
 - * 抜刷料(50部を目安)
 - * 高額な場合は研究室予算から一部支払を依頼

投稿料支払いの流れ

研究者

▶ システムから出力した帳票(外部発表終了届)と論文抜刷・請求書を図書館に提出



図書館

▶ 外部発表終了届と抜刷・請求書の照合

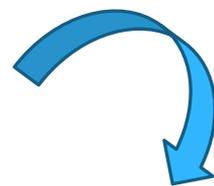
▶ 助成条件の確認
〔助成範囲〕投稿料、発行元が規定する最小単位の抜刷料

▶ 支払手続き
投稿先からの請求書に基づき図書館から支払

論文投稿料支払(平成26年度)の状況

支払先	1本当たり平均額	件数
国内誌	¥58,000	29件
国外誌	¥94,000	27件

2014/04-2014/05の支払
(研究室での支払い分を含む)



支払先例

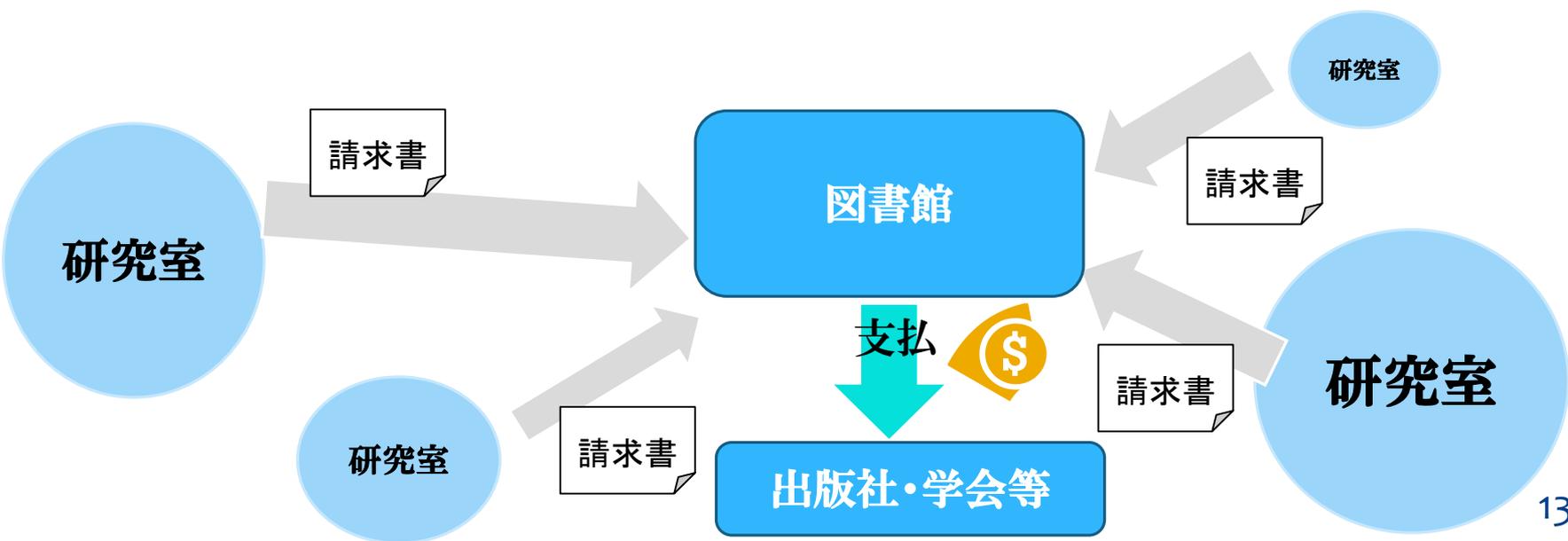
国外への支払	国内への支払
Elsevier	日本原子力学会
IOP Publishing	プラズマ・核融合学会
Taylor & Francis	日本金属学会
Springer	日本物理学会
Copyright Clearance Center	日本保健物理学会

APC支払の事例

- * Journal of Nuclear Science and Technology
 - * Hybrid Open Access Journal
 - * Article Processing Charge \$ 2,950
- * IEEE Transactions on Nuclear Science
 - * Hybrid Open Access Journal
 - * Article Processing Charge \$1,750
- * PLoS ONE
 - * Open Access Journal
 - * Article Processing Charge \$1,350
- * Scientific Reports
 - * Open Access Journal
 - * Article Processing Charge ¥149,625(税込)

図書館が投稿料支払を行うメリット

- * 図書館に予算を集約
 - * 研究室の規模(予算)によらず、発表を行うことが可能
 - * 事務手続きの効率化



図書館が投稿料支払を行うメリット②

- * 研究者の発表情報の把握と管理
 - * 投稿料支払いが行われる論文投稿情報
 - * 機関リポジトリ等の運用にも活用
 - * 抜刷の入手が容易に
- * 研究者の論文投稿動向等の把握
 - * 投稿が多い学術誌の把握
 - ⇒購読誌の選定等に活用

APCの支払における課題

- * 費用の確保

- * 1件あたりの投稿料が高額

- JAEA図書館でもAPCを想定した予算確保とはなっておらず、APC支払を図書館の予算でまかなっていくには限界がある

- * JAEA図書館でのAPC支払への対応

- * 原則として、ハイブリッド型のAPCは図書館予算からの助成の対象外(予算上の課題)

- * 希望する場合は個別に対応を協議

- * 高額なAPCの場合は、研究室予算からの一部支払を依頼

⇒APC支払が増加してきた場合、費用負担増の問題が。

投稿料支払い業務を担当して

